

# 行政の窓

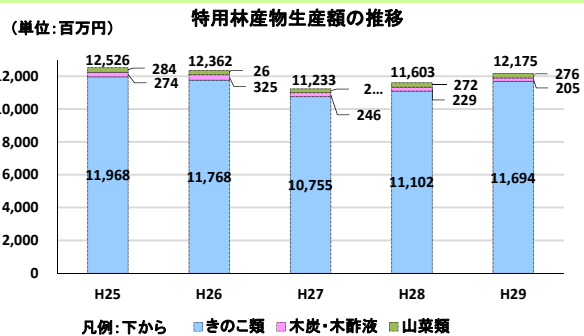


## 平成29年 特用林産統計について



### 【特用林産物生産額】

平成29年における道内の特用林産物の生産額（以下、推計額）は、全体の96.1%を占めるきのこ類が増加したことにより、総額は約122億円（前年比104.9%）と昨年に続き前年を上回りました。

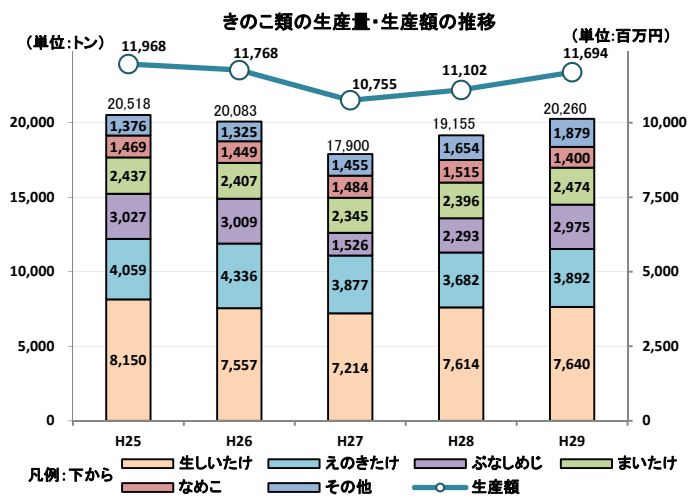


### 【きのこ類の生産動向】

平成29年のきのこ類の生産額は約117億円（前年比105.3%）、生産量は20,260トン（前年比105.8%）といずれも前年を上回りました。このうち、道内で最も生産量の多い「生しいたけ」

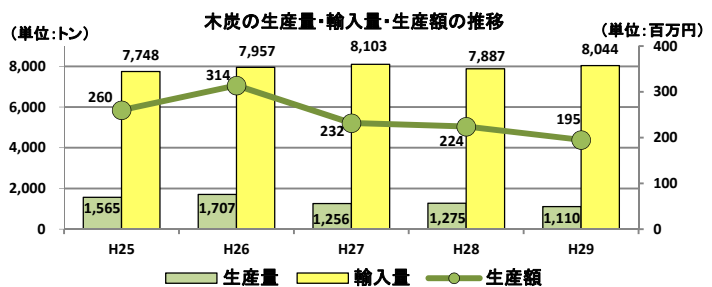
（原木及び菌床）は生産量が7,640トンと前年並みでしたが、生産額は約55億円（前年比104.2%）、と前年を上回りました。

また、近年、きくらげ類の生産が伸びており、平成29年の生産量は生換算で299トン（前年比117.1%）と全国生産量の17.5%を占め、都道府県別で第1位の生産量となっています。



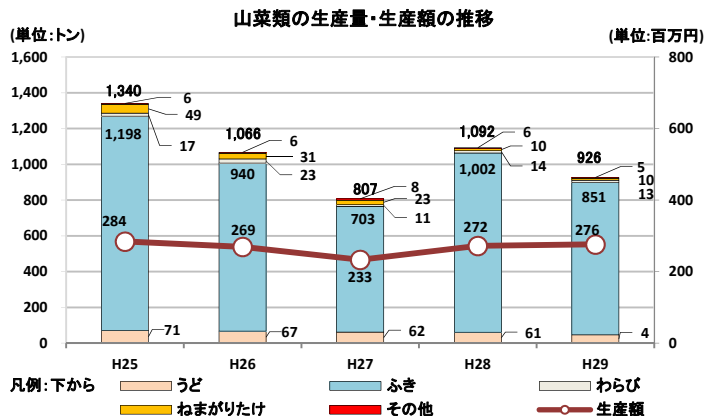
### 【木炭の生産動向】

平成29年の生産量は1,110トン（前年比87.1%）、生産額は195百万円（前年比87.1%）といずれも前年を下回りましたが、輸入量は前年を上回っています。



### 【主な山菜類の生産動向】

道内における山菜類の生産は、天然物の採取が中心のため、生産量は天候に左右される特徴があり、平成29年は生産量が926トン（前年比84.8%）と前年を下回りましたが、生産額は276百万円（前年比101.3%）と前年を上回りました。



（水産林務部林務局林業木材課流通加工グループ）